

日本薬学会九州支部特別講演会

演題：薬物投与技術の進歩と将来の医療

講師：橋田 充 教授

京都大学大学院薬学研究科、同 物質-細胞統合システム拠点

日時：平成 28 年 9 月 23 日（金） 17：00～18：00

場所：長崎大学医歯薬学総合研究棟（歯学部）7 階 第一講義室

要旨：生命の本質に迫る生命科学の深化、臨床医学の進歩、医療・社会制度・法規制の改革など、医療の進歩は様々な観点から議論されるが、治療の根幹を成し薬学が拠って立つところの薬物治療に関しては、薬物投与の方法論、技術がその進歩を支える基盤技術と位置付けられる。DDS は薬物体内動態の精密制御を通じて治療の最適化を図る薬物投与技術であり、中でも体内分布過程を制御し作用部位に選択的に薬物を送り込むターゲティングは、低分子薬物からタンパク質医薬品、遺伝子治療へと適用範囲が拡大されている。また、ナノテクノロジーの応用分野として、新素材を用いた DDS キャリアの開発に加え、超音波、光・レーザーなど多様な医用エネルギーの応用と融合させた治療法の開発も進められている。

優れた薬物治療は、薬物分子活性の創成と DDS 技術の両者を基盤として実現される。我々は、細胞や組織の移植・再生、医療機器デバイスの利用、あるいは外部エネルギー照射など、多くの科学技術の融合に基づく新しい治療技術の創製に取り組んできた。本講演では、そのいくつかを紹介し、薬物投与技術の進歩を俯瞰する。

共催：長崎大学薬学部育薬研究教育センター、
同下村脩博士ノーベル化学賞顕彰記念創薬研究教育センター

連絡先：

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

医療科学専攻 薬剤学分野

西田孝洋

TEL: 095-819-8566

E-mail: koyo-n@nagasaki-u.ac.jp